

高島の古代遺跡その②

昭和59年(1984)、市内の永田遺跡と小荒路十寺遺跡で、県営ほ場整備(農地改良工事)に伴う埋蔵文化財発掘調査が実施され、多くの埋蔵文化財資料が検出されました。

永田遺跡

永田遺跡は上永田に所在し、集落の西には式内社の長田神社が鎮座しています。北の字「城出」には「てらかやぶ」と呼ぶ長方形土塁を巡らす単郭の永田城跡があります。城主は高島七頭の永田氏です。

検出された遺構は、方形状周溝3基と井戸2基柱穴跡等で、遺物の年代は8世紀末から9世紀初頭の奈良から平安時代にかけてです。遺構内や周辺からは、木簡(うす板に墨書)・斎串(祭具)・木沓・火きり臼等が出土し、荷札木簡(現存値 長さ25cm、幅3.9cm、厚さ0.4cm)には「田廣濱 秦棕人酒公 秦廣嶋□□継」と判読できる墨書がありました。他に銅製の

帯金具の鉸具や丸鞆、巡方が出土しました。

また、和同開珎、万年通宝、神功開宝の銅銭や「媛」と「志津」と判読できる墨書土器が出土しました。遺跡の性格としては、秦氏に関する下級官僚クラスの居宅で、焼けた鉸具や木片の他、溶着した銭貨等から火災に遭ったことが想像できます。

小荒路十寺遺跡

遺跡は旧マキノ北小学校の東方水田下に広がります。発掘調査面積が小さいながら多く遺物が出土しました。9世紀初めから中頃の須恵器・土師器・緑釉陶器・灰釉陶器・墨書土器・転用硯・木製品・万年通宝銭・隆平永宝銭などが出土しています。墨書土器は85点を数え「大家」「常大」「常大家」「常の墨書」が大半をしめ、他に「寺」「刀」「井」などがありました。この辺りは遺跡が希薄で9世紀に官制に伴う施設が突如設置されたと思像で

きます。遺跡地から北に行くと、古代三関の一つである北陸道の愛発関(敦賀市足田)推定地に至ります。

市内には、奈良時代から平安時代にかけての古代遺跡が数多く良好に残されています。皆さんも深まり行く秋の自然の中で、遺跡散策を楽しんでみてはいかがでしょうか。

閤文化財課

☎ (25) 8559



永田遺跡の遠望(東北から)

編集 雑感

長い夏が終わり、ようやく涼しくなってきたと思えばもう11月ですね。今年も残り2か月、そろそろ年賀状の準備をされる方もいらっしゃるのではないのでしょうか？今年なんと市制20周年記念の特別な年賀はがきが市内郵便局等で販売されます！通常の年賀はがきよりも安く、独自のお年玉くじもついていてお得になっています。詳しくは3ページをご覧ください！(S)

令和6年度地域展示「出張!!知ってる? たかしまの歴史と文化財」

- | | | | |
|-----|------|-------|--------|
| 第1回 | 朽木の巻 | 朽木公民館 | 開催中～3月 |
| 第2回 | 高島の巻 | 高島公民館 | 11月～3月 |
| 第3回 | 今津の巻 | 今津図書館 | 12月～1月 |

普段見る機会の少ない市内各地域ゆかりの文化財を展示し、分かりやすく解説します。



広報たかしま

令和6年

11

月号
No.298

発行▼高島市 編集▼政策部企画広報課
〒910-1-1001 滋賀県高島市新旭町北畑5の10番地

☎ 0740(25)8000(代)
https://www.city.takashima.lg.jp
t-info@city.takashima.lg.jp